

●子どもわくわく美術講座「お面を作ろう！」

荻須記念美術館で開催され、子どもたちは世界各地のお面や、その役割を学びながら、オリジナルのお面を作成しました。



▲完成したお面をつけて記念撮影♪ユニークな作品が勢ぞろい！

みんなのひろば

●全日本小学生ボウリング競技大会

稲沢グランドボウルで2日間開催され、全国の小学4～6年生が学年・男女別の6部門に分かれてスコアを競いました。



▲選手の皆さんは、見事な投球で次々とピンを倒していきました

消費生活センター  
からのお知らせ  
市役所商工観光課

トラブルを未然に防ごう  
トイレのつまり、水漏れなど  
緊急時の駆け付けサービスのトラブルに注意！

こんなトラブルに要注意！

「トイレのつまり」「蛇口からの水漏れ」などの急を要するトラブルに慌てて、ネットやチラシを見て、事業者へ連絡した。修理を急ぐあまり内容などをよく確認しないまま契約してしまい、高額な請求をされトラブルにつながった。

アドバイス

- ・急を要するトラブルに備え、安心して修理を依頼できる事業者の情報を集めておきましょう
- ・提示された料金をうのみせず、事業者へ、出張料、点検料、作業を依頼しない場合の料金や修理などについて、事前に見積もりを取りましょう
- ・慌てて事業者を呼んでしまいがちですが、複数社から見積もりを取り、料金などを比較検討しましょう

市役所消費生活センター ☎0587(32)2594  
受け付け 月～金曜日 ※祝休日を除く  
午前10時～正午・午後1時～3時

警察署からのお知らせ

稲沢警察署 ☎0587(32)0110

稲沢市内で特殊詐欺被害が多発！

市内では昨年に比べ、特殊詐欺被害が大幅に増加しています。

8月に実際に起きた事例では、被害者の自宅に警察官を名乗る男から「あなたの口座からお金が引き出されている。被害防止のためキャッシュカードを確認したい。」といった電話があり、自宅玄関先には警察官を名乗る犯人が立っていました。被害者は犯人の指示に従い、用意された封筒にキャッシュカードと暗証番号のメモを入れて渡してしまい、その後、目を離れた際に、犯人に別の封筒とすり替えられ、キャッシュカードを騙し取られてしまいました。

こういった手口の特殊詐欺被害が連続して発生しています。

「お金」「キャッシュカード」の話が出たら詐欺かもしれません！詐欺と思われる不審な電話があったら、迷わず家族や警察署に相談してください。



市公式YouTube「特殊詐欺劇場～渡すな危険!!キャッシュカード!～」

ケーブルテレビの稲沢市広報番組  
いなざわふれあい通信

問合せ先 市役所秘書広報課

市の施策や計画、行事、祭り・イベントなどを映像でお伝えする市政広報番組「いなざわふれあい通信」を、稲沢CATV (TOP TOWER) と西尾張CATV (クローバーTV) で放送しています。

- ◆10月1日～15日の放送内容  
「食品ロスを減らそう」
- ◆10月16日～31日の放送内容  
「稲沢イルミネーション」

※新型コロナウイルスワクチン接種についても紹介しています

●放送開始時間 (10分番組)

稲沢CATV…6:50、9:50、10:50、11:50  
14:50、17:50、20:50、21:50  
西尾張CATV…8:45、14:15、17:45、20:45

- ▷番組のDVDを市役所秘書広報課、支所、中央・祖父江の森・平和町図書館で貸し出しています
- ▷放送期間中の内容は、市ホームページからも、視聴できます

ここから視聴できます！



俳句

安田一子 選

【特選】	ひた走る運動会の華となれ	(梅須賀町) 田中佳子
【入選】	隠居とは男の処世稲実る	(下津片町) 松尾英利
	風にのり拡声町に運動会	(駅前二丁目) 山内敏子
	乗り出して呼び名とび交う運動会	(祖父江町山崎) 光崎倭子
	午後の部や雲行き怪し運動会	(日下部北町) 近藤とし江
	最後まで走りきったよ運動会	(込野町) 牛田照代
	稲実り黄金の波畦せまし	(船橋町) 山田日出代
	遙かまで稲実りゆく米どころ	(田代一丁目) 原田千鶴
	鎌休め秋の実りに腰伸ばす	(奥田計用町) 大熊信吾
	稲実り日暮るる道や歩を早め	(北島町) 内笹井幸子

【評】田中さん：写真の一瞬のような句。応援している人の心情が強く伝わってきます。松尾さん：潔い第二の人生への踏み出しに、心よりエールを送ります。

●募集します(俳句) ▶兼題(12月号) 初雪、柚子湯(柚子の湯) ▶締切日 10月15日(金) ▶応募方法 住所・氏名を記入の上、市役所秘書広報課(〒492-8269 稲沢市稲府町1)へ ※兼題1つに2句まで。FAX(0587(23)1489)、Eメール(haiku@city.inazawa.aichi.jp)でも受け付けます

笑顔で話そう



みつだ じろう  
光田二郎さん  
(祖父江町山崎)

●代々続くぎんなん農家  
祖父の代からぎんなん農家を始め、私で三代目になります。高校では農業を学び、ゆくゆくは後を継がなくてはという気持ちはありました。が、担任の先生からの勧めもあり、公務員としての道を選びました。働きながら休日は実家を手伝うという生活を続け、定年退職後、本格的にぎんなん農家を始めました。

ぎんなんの生産・出荷は、お盆過ぎから年末にかけて忙しくなります。作業工程の中で特に大変なのが、収穫の作業です。枝をゆすつて実を落とすイメージがあると思いますが、10月に入るまでは実がなかなか落ちないため、棒の先にナイフを付けたもので1粒1粒切り落とす作業です。機械化が進みましたが、この作業だけは手作業しかできません。ぎんなん農家という仕事を通じ、新たな出会いがたくさんあり、交友関係が広がっていききました。イチヨウ黄葉を観光しに来た方の中には、年賀状のやり取りをするまで親しくなつた方もいるんですよ。

●「祖父江ぎんなんブランド」の発展  
今年4月には、これまであった3つの出荷組織を統合し、「JA愛知西祖父江ぎんなんブランド部会」を立ち上げました。一つの組織にまとまって、「祖父江ぎんなん」というブランドを全国PRし、盛り立てていくことを目指しています。

また、ぎんなんの食用以外の用途など、新たな可能性を模索・研究しています。「祖父江ぎんなん」を、今後さらに発展させていければと思います。

